

活動報告

- 活動日時：2024年6月2日（日）9：30～15：40
- プログラム名：安全講習
- 目的：安全に活動するために、皆で考え今後の作業に反映させる
- 活動場所：カブ森A地区
- 参加者：7名
- 活動概要：不安全、危険要因についての振り返り、伐倒実習
- 活動内容

この時期としては清々しいコンディションのもとでの開催となった。もともと5月12日の予定だったが雨天中止になり、急遽再設定され参加者が例年の半分程度で行われた。

① 座学（午前中）レクチャールーム

森会活動時に限らず、この一年ヒヤリとした経験などについて話し合った。

- ・アカマツ林のシダ刈りについて確認、急斜面や足元が殆ど見えない危険な箇所が多い、無理しないことが大切。
- ・移動時に伐り株や根などに捕まることがある、いきなり掴むと抜けることがあり危険、慎重さが求められるとの経験談があった。
- ・慣れからつい推測で動くことがある、事故の元。

<危険生物について>

- ・アカマツ林やカブ森で遭遇する可能性のあるものを確認。
- ・予防や応急処置について確認。

<熱中症について>

- ・熱中症の事故が発生した場合の対処方法を確認。
いざ目の前で起こった場合に適切に対応できるか考えた。
- ・最近の熱中症対応策から身体を冷やす方法について事例紹介。
- ・水分と塩分補給について確認。

② 伐採実習（午後）

準備運動、道具準備の後はカブ森に向かい、旧休憩小屋跡にタープを張り昼食、ほぼ1時間遅れで実習開始となった。

森会式伐木手順、伐採時に必要なロープワークの確認をした上で、2班に分かれ作業。各班リーダー含めて3名での伐倒作業、特に旧休憩小屋北西のクヌギは直径30cm超と大物で時間内に伐れるか心配だったが、みんなの頑張りでも伐倒できた。

枝葉処理や材の玉切りも、一般の方の通行に支障のない程度までに処理でき、結果的に予定時刻に撤収することが出来た。

■振り返り

- ・ヒヤリハットについて、過去の事例共有や意見交換ができて良かった。
- ・作業開始前は、危険予知を必ず行うこと、自分の頭で考えることも大切だ。
- ・今回の伐採実習で伐採5原則の確認に枝振りの確認も必要ことがわかった。
- ・参加者全員で安全意識を共有できた有意義な活動になった。



<安全講習 ヒヤリハット座学>



<伐採実習>



<タープ張り 和やかに昼食タイム>